

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月12日

上場会社名 株式会社 WDI 上場取引所 JQ  
 コード番号 3068 URL <http://www.wdi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 清水 謙  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 智晴 (TEL) 03(3404)3704  
 管理本部本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月16日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,167	△6.3	125	132.0	39	—	△329	—
22年3月期第1四半期	4,447	△7.9	53	—	△23	—	3	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△51	99	—	—
22年3月期第1四半期	0	61	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年3月期第1四半期	8,715		908		10.0		137	22
22年3月期	8,597		1,265		14.3		194	52

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 868百万円 22年3月期 1,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	6	00
23年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	0	00	—	—	6	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	8,432	△6.0	280	7.5	162	402.5	△234	—	△36	98
通期	16,855	△4.4	588	4.1	435	33.7	102	46.6	16	15

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	6,331,920株	22年3月期	6,331,920株
23年3月期1Q	170株	22年3月期	170株
23年3月期1Q	6,331,750株	22年3月期1Q	6,331,750株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアの新興国を中心に海外経済が改善傾向にあることを受け、一部では回復の兆しが見られているものの、雇用や所得への不安感を背景とした個人消費の低迷など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましても、一般消費者の購買意欲が低下したことに伴う、外食消費の減退や低価格志向の高まりが継続しており、依然として厳しい状況にあります。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、前連結会計年度に実施していた収益力向上のための施策を、当連結会計年度も高いレベルで継続できるよう取り組んでおります。また、既存店における売上、来店客数の向上が重要課題であるという認識から、「4つのオフェンス施策」を策定し、順次進めております。

新規出店といたしましては、フランチャイズ展開において、「カブリチョーザ」「トニーローマ」を日本国内にそれぞれ1店舗ずつ出店いたしました。海外では、「レインボー・ロール・スシ」のタイにおける2号店を出店いたしました。

一方、不採算の状態にあったWolfgang's Steakhouse Beverly Hills店について運営会社の株式を売却することで当社グループとの関係を解消し、米国における事業収益力の向上に目処を付けました。

業績につきましては、既存店舗における来店客数の減少や客単価の低下等の影響により、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,167百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

営業利益は、店舗の収益力向上が寄与し、125百万円（前年同期比132.0%増）となりました。

経常利益は、為替レートが前期末に比べて円高へと進んだ影響による為替差損61百万円を計上したこと等により、39百万円（前年同期は経常損失23百万円）となりました。

四半期純損失は、事業整理損失引当金繰入額322百万円を計上したこと等により、329百万円（前年同期は四半期純利益3百万円）となりました。なお、事業整理損失引当金繰入額には連結子会社であるWDI International, Inc. が2010年8月3日（現地時間2010年8月2日）付で、保有するW STEAK BEVERLY HILLS, L.L.C.の全株式をW Steak California Corp.及びPeter Zwienerに譲渡したことに伴い、将来負担することが見込まれる損失見積額のほか、当該事業に係る貸付金等の回収不能見込額等が含まれております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①日本

国内では、売上高は3,071百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益は183百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

#### ②北米

米国では、売上高は720百万円（前年同期比0.5%減）、営業損失は18百万円（前年同期は営業損失81百万円）となりました。

#### ③ミクロネシア

ミクロネシアでは、売上高は329百万円（前年同期比15.0%減）、営業利益は46百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

#### ④アジア

アジアでは、売上高は59百万円（前年同期比67.9%増）、営業利益は17百万円（前年同期比101.6%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、8,715百万円（前連結会計年度末より117百万円増加）となりました。これは、現金及び預金の増加が主な要因であります。

負債については、7,806百万円（前連結会計年度末より475百万円増加）となりました。これは、短期借入金の増加が主な要因であります。

純資産については、908百万円（前連結会計年度末より357百万円減少）となりました。これは、利益剰余金の減少が主な要因であります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、990百万円となり、前連結会計年度末より152百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は86百万円(前年同期は127百万円の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失314百万円の計上、法人税等の支払額180百万円の発生及び仕入れ債務の減少90百万円があった一方で、事業整理損失引当金繰入額322百万円及び減価償却費158百万円が計上されたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は138百万円(前年同期は323百万円の減少)となりました。これは主に定期預金の預入による支出90百万円・有形固定資産取得による支出24百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により増加した資金は452百万円(前年同期は362百万円の増加)となりました。これは主に短期借入れによる収入340百万円、長期借入れによる収入250百万円があった一方で長期借入金の返済による支出72百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2010年8月2日付「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました2011年3月期の連結業績予想から修正は行っておりません。

詳細につきましては、2010年8月2日付「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

なお、連結子会社であるWDI International, Inc. は、2010年8月3日(現地時間2010年8月2日)付で、保有するW STEAK BEVERLY HILLS, L. L. C. の全株式をW Steak California Corp. 及びPeter Zwienerに譲渡いたしました。これにより、W STEAK BEVERLY HILLS, L. L. C. は連結子会社から除外されます。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ① 定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
- ② 税金費用の計算については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。
- ③ 繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

- ① 当第1四半期連結累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。  
これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。
- ② 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。
- ③ 当第1四半期連結累計期間において、当社グループは事業整理損失引当金274,653千円を計上いたしました。これは、連結子会社であるWDI International, Inc. が2010年8月3日(現地時間2010年8月2日)付で、保有するW STEAK BEVERLY HILLS, L. L. C. の全株式をW Steak California Corp. 及びPeter Zwienerに譲渡したことに伴い、将来負担することが見込まれる損失見積額を計上したものであります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2010年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,316,222	1,073,766
売掛金	194,192	216,017
たな卸資産	247,091	255,820
1年内回収予定の長期貸付金	9,852	9,852
預け金	335,750	427,889
繰延税金資産	236,592	206,457
その他	477,597	346,383
貸倒引当金	△33,665	△29,997
流動資産合計	2,783,633	2,506,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,741,691	5,849,431
減価償却累計額	△2,967,789	△2,994,016
建物及び構築物(純額)	2,773,901	2,855,414
工具、器具及び備品	1,505,429	1,507,031
減価償却累計額	△1,015,360	△986,579
工具、器具及び備品(純額)	490,068	520,451
土地	232,941	232,941
建設仮勘定	2,316	1,059
その他	30,436	27,972
減価償却累計額	△19,860	△18,887
その他(純額)	10,576	9,084
有形固定資産合計	3,509,803	3,618,951
無形固定資産		
その他	316,173	313,118
無形固定資産合計	316,173	313,118
投資その他の資産		
投資有価証券	4,267	6,762
長期貸付金	173,871	171,951
敷金及び保証金	1,407,549	1,409,946
繰延税金資産	333,284	333,277
その他	241,106	240,822
貸倒引当金	△54,445	△3,266
投資その他の資産合計	2,105,634	2,159,492
固定資産合計	5,931,611	6,091,563
資産合計	8,715,245	8,597,752

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2010年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	348,331	437,645
1年内返済予定の長期借入金	2,056,260	2,051,025
未払金	645,117	546,131
短期借入金	306,700	—
未払法人税等	25,053	189,989
賞与引当金	98,142	200,457
販売促進引当金	11,000	10,000
事業整理損失引当金	274,653	—
資産除去債務	24,130	—
その他	541,008	564,397
流動負債合計	4,330,397	3,999,646
固定負債		
長期借入金	2,975,140	2,808,537
繰延税金負債	2,890	6,259
その他	498,429	517,379
固定負債合計	3,476,460	3,332,176
負債合計	7,806,857	7,331,822
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	585,558	585,558
資本剰余金	588,655	588,655
利益剰余金	△116,612	250,537
自己株式	△124	△124
株主資本合計	1,057,476	1,424,627
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,213	4,128
為替換算調整勘定	△192,823	△197,124
評価・換算差額等合計	△188,610	△192,995
少数株主持分	39,521	34,298
純資産合計	908,388	1,265,930
負債純資産合計	8,715,245	8,597,752

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)
売上高	4,447,498	4,167,066
売上原価	1,089,853	1,030,142
売上総利益	3,357,645	3,136,924
販売費及び一般管理費	3,303,745	3,011,866
営業利益	53,900	125,057
営業外収益		
受取利息	2,626	3,547
出資金運用益	5,342	—
還付金	—	5,040
受取補償金	7,063	7,516
受取保険金	7,094	84
その他	967	3,196
営業外収益合計	23,094	19,385
営業外費用		
支払利息	42,659	31,455
為替差損	47,051	61,112
出資金運用損	—	2,734
その他	10,648	9,499
営業外費用合計	100,360	104,802
経常利益又は経常損失(△)	△23,366	39,640
特別利益		
固定資産売却益	57	364
子会社株式売却益	31,564	—
貸倒引当金戻入額	30	11
過年度店舗閉鎖損失見積差額	—	5,300
特別利益合計	31,652	5,675
特別損失		
固定資産売却損	—	803
固定資産除却損	—	19
店舗閉鎖損失	529	13,724
減損損失	—	23,048
事業整理損失引当金繰入額	—	322,268
特別損失合計	529	359,864
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,756	△314,548
法人税等	36,321	9,773
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△324,321
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△32,416	4,837
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,851	△329,159

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,756	△314,548
減価償却費	177,019	158,812
賞与引当金の増減額(△は減少)	85,401	△102,314
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	△11
受取利息	△2,626	△3,547
支払利息	42,659	31,455
為替差損益(△は益)	44,802	61,353
出資金運用損益(△は益)	△5,342	2,734
有形固定資産売却損益(△は益)	△57	439
店舗閉鎖損失	529	13,724
事業整理損失引当金繰入額	—	322,268
過年度店舗閉鎖損失見積差額	—	△5,300
子会社株式売却損益(△は益)	△31,564	—
固定資産除却損	—	19
減損損失	—	23,048
売上債権の増減額(△は増加)	2,130	36,575
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6	9,165
その他の流動資産の増減額(△は増加)	99,056	△62,232
その他の固定資産の増減額(△は増加)	198	—
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,089	△90,446
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△214,056	30,329
その他の固定負債の増減額(△は減少)	7,414	△19,725
その他	5,050	2,930
小計	172,247	94,731
利息の受取額	3,625	2,557
利息の支払額	△10,305	△2,989
法人税等の支払額	△39,101	△180,878
法人税等の還付額	1,259	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,725	△86,578
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△253,815	△24,697
有形固定資産の売却による収入	57	2,364
無形固定資産の取得による支出	△14,715	△16,867
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	29,868	—
長期貸付けによる支出	—	△3,500
長期貸付金の回収による収入	43,909	3,053
定期預金の預入による支出	△275,000	△90,279
定期預金の払戻による収入	87,421	—
敷金及び保証金の回収による収入	62,730	2,679
その他	△3,996	△10,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△323,539	△138,144

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	340,000
短期借入金の返済による支出	—	△33,300
長期借入れによる収入	910,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△547,057	△72,500
配当金の支払額	—	△31,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	362,942	452,283
現金及び現金同等物に係る換算差額	△175,516	△75,507
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,388	152,052
現金及び現金同等物の期首残高	1,256,074	838,925
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,247,685	990,977

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。